

佐伯史談会六十周年

記念誌の発刊について

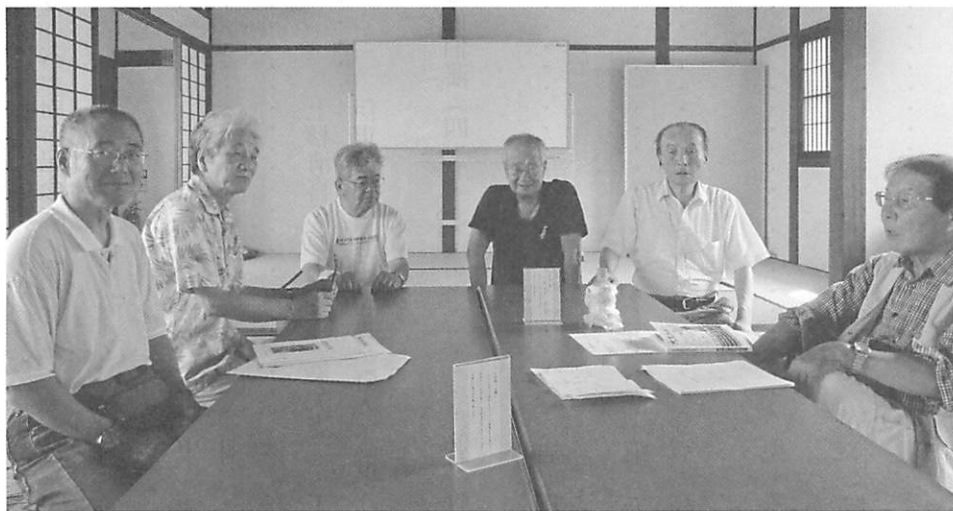
会長 佐藤 巧

六十周年を迎えて、改めて先輩諸氏の築いてきた伝統の重さを感じ、また会員皆様方の御支援に厚く感謝を申し上げます。

私も当会に所属してやがて四十年を迎えますが、郷土の歴史を知る喜び、発見する喜び、伝える喜びを味わいながら過ごしてきました。若くして事務局長を志願したので「若い者は気がきかん」と女性会員に叱咤されながら育てていただきました。事務局は情報の集まる所で、各地の郷土出身者や市外研究者から問い合わせも多くあり、一つ一つ答えることがよい勉強になりました。

その後、編集長も勤めましたが、「平易でわかりやすい文章を」と同委員に要望されました。特に研究者は學術論文にこだわりをもっていますから、古文書や漢詩・漢文などは多くの解説を要して、かえって難解な印象を与え

がちです。未だに私自身が抱えているジレンマの一つです。



役員会

七月三日

佐伯市観光
交流館にて

(右から)

副会長

野々下 静

同

柴川 英敏

事務局長

伊東 義和

会計

丁田 健太郎

会長

佐藤 巧

編集長

吉田 勝重

撮影者

林 寛

最近、小学校に出張して低学年の生徒に話す機会がありました。その時私は「子供達に分かるように話すことの難しさ」を痛感しました。また父兄からは「子供向けのカルタ」を作ってはとの要望もあり、覚えにくい年号や人名、歴史用語を省いて昔話的な表現で伝える方法もあるのではと考えています。

今回の記念誌は、会員の活動がアルバム風に見え、会員の顔や意見が見える様編集しました。

佐伯史談会の規約をみると第二条に次の事業が記されています。

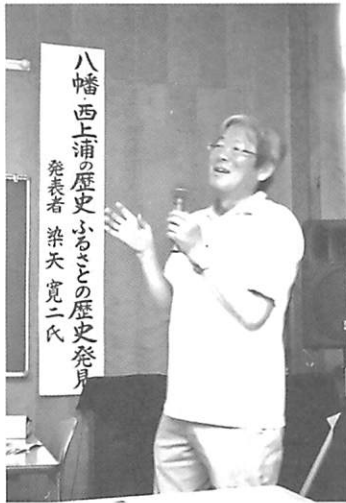
- 一、講演会・講習会・現地研修会の主催
- 一、史蹟の調査 文献、資料の収集
- 一、文化財の愛護顕彰
- 一、会誌「佐伯史談」の発行

講演会や現地研修会は事業委員会や研修委員会が担当し、史跡の調査、文献、資料の収集は四つの古文書研修会が、文化財の愛護顕彰はボランティア活動として実施しています。実践の内容や様子、個人研究等を佐伯史談として編集紹介するのが編集委員会です。



事業委員会の活動（委員長 野々下 静）

29年度佐伯史談会研究発表会
ふるさとにおける津波の歴史（野々下静）
ふるさと堅田（林寛） 宇土山城砦（阿部光明）



本年度は七月十四日

三余館の大会議室で、
 会員染矢寛二さんと戸
 高厚司さんの二人の研
 究発表がありました。

○八幡・西上浦の歴史

会員 染矢寛二

○宇目の里に

古道を訪ねて

会員 戸高厚司

会場いっぱい到会

員・市民が参集し熱心
 に二人の発表を視聴し

ていました。

お二人の研究

内容は本会誌に
 掲載していま
 す。

研修委員会活動 (委員長 林 寛)

研修委員会は、主に年度当初の「初歩き」、「歴史ロマン
 探検隊」の活動を中心に実施しています。

「初歩き」は従来「独歩会」と共催でしたが、昨年度より
 史談会独自の行事として実施しています。

「歴史ロマン探検隊」は平成二十八年十二月の第一回
 「下堅田・青山の古塔めぐり」を皮切りに、ほぼ毎月実施
 しています。

第二回「榎牟礼城主佐伯惟治と親しい僧侶、春好の

山上寺跡」

第三回「お為半蔵の出会いの場 龍王山」

第四回「堅田一族の居城 高城跡」

第五回「西南戦争の激戦地①高床山」

第六回「檉野の石塔 永福庵と上小倉摩崖仏」

第七回「宇目酒利代官所跡と崇圓寺石塔」

第八回「戸穴荘と彦宮神社と万休院」

第九回「太平洋戦争の遺跡①野岡・長島」

第十回「太平洋戦争の遺跡②鶴見」

第十一回「大入島の文化財」

第十二回「上浦 潜水艦沈没事件と真宗寺、豊後二見ケ浦」

第十三回「西南戦争の激戦地②陸地峠」

第十四回「西南戦争の激戦地③梓峠・黒土峠」

第十五回「西南戦争の激戦地④石神峠北浦陣ヶ峰」

第十六回「佩楯山と松葉の古塔」

第十七回「西南戦争の激戦地⑤三国峠」

第十八回「西南戦争の激戦地⑥延岡市和田越え

古戦場跡・西郷隆盛宿陣跡」

第十九回「弥生町の文化財」

研修会

平成二十九年四月「咸宜園と広瀬淡窓の足跡を

辿る旅」(日田・小国)

平成二十九年九月「本匠の文化財」

平成三十年四月「熊本城・田原坂・阿蘇神社」

歴史ロマン探検隊は今後もほぼ毎月実施して行く計画です。内容については、研修部長が毎回「歴史ロマン探検隊だより」「研修だより」と題して広報紙を作成、配布しています。

熊本城・田原坂・阿蘇神社の研修会の要旨は二八ページに紹介しています。一読ください。



「熊本城・田原坂・阿蘇神社」の日帰り研修会で